



RI会長
イアン H.S. ライズリー



ロータリー：
変化をもたらす

静岡東ロータリークラブ

会長／高田雅司 幹事／川崎依子

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
高田雅司

第 2846 回例会

平成 30 年 3 月 8 日 天候 雨

- 《司 会》 川崎 依子 君
- 《合 唱》 「我等の生業」
- 《BGM》 GERRES MOUSTAKI 私の孤独
- 《ゲスト》 なし
- 《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日
なし

結婚記念日
3月9日 戸塚 敦雄 君

《会長挨拶要旨》

高田 雅司 会長



皆さん、こんにちは。

今日は静岡綱引連盟の理事長石山なほみ様をお迎えして「綱引きが教えてくれるもの」と題してお話を頂きます。石山様どうぞよろしくお願い致します。

先週は業界団体の研修旅行で欠席をいたし、すみませんでした。特に出発を控えた 26 日の日、勝山会員の訃報の連絡に大変ショックを受けました。勝山先生は先月 23 日の市内 7 クラブの合同例会の日もご欠席

で、しばらくの例会欠席で、川崎幹事と心配をしていた矢先の連絡でございました。研修旅行中で通夜も葬儀も参加できず大変失礼を致しました。ただ 3 日は滞在先・視察先のパレルモの教会でご冥福をお祈りしてまいりました。

さて今回の研修旅行は企画型の旅で建築の視察とグルメを堪能した旅になりました。28 日に出発し 6 日に帰国の実質四日半の研修旅行でした。シチリア島では、パレルモから一時間半程のアグリジェントで古代の遺跡と建築を、二日目のパレルモでは教会建築やヨーロッパ最大のオペラハウスの一つ：マッシモ劇場を視察し、夕方ローマに移動。三日目、午前中はコロッセオ、フォロ・ロマーノ、トレビの泉、スペイン階段と定番の観光コースをめぐり、午後の視察は今回のメインである、現代建築；国立競技場の設計コンペで、一躍有名になった今は亡きザハ・ハディドのイタリア 21 世紀美術館や、リチャード・マイヤーという米国の建築家の設計によるアラ・パキスやジュビリー教会を視察いたしました。21 世紀博物館は、韓国ソウルの東大門にある芸術センターに、外観はまるで違いますが内部の空間構成や雰囲気こそっくりな建築でした。

四日目はフリータイムでしたが、10 名でフィレンツェへのイタリア新幹線による日帰りの視察をし、最終日午前中、朝早くホテルを出、バチカンのサン・ピエトロ大聖堂の内部とドームの屋根に上り市内を俯瞰し、午後のアリアリア航空成田直行便にて帰ってまいりました。

食の方は毎昼、毎晩、現地のツアーコンの案内でそれぞれ地元の郷土料理を堪能してまいりました。中ではフィレンツェでの、昼から開いている居酒屋での牛の内臓を使った様々な郷土料理、日本でいえばホルモン、が素朴で、大変美味しい料理でした。

以上、まじめな視察研修旅行のご報告でした。

《来賓卓話》

静岡綱引連盟理事長

石山 なほみ 様

「綱引が教えてくれるもの」



只今ご紹介を頂きました石山なほみと申します。皆さま宜しくお願ひ致します。私が綱引きの話をするのもおこがましいと思うのですが、今年、静岡県綱引連盟は35周年を迎えます。私も三十数年綱引きに関われさせて頂き、まさかこんなに長く関わり続けるとは全く思いもしませんでした。続けていけば、いくほど、綱引きの魅力にどっぷりとつかってしまいました。

綱引きと聞いて皆さま思い浮かべるのは、小学校や中学校などの運動会での綱引きですよね。綱引きはロープさえあればいつでも、どこでも、誰でもできるスポーツです。

私も皆さんと同じように運動会で行われる綱引きしか知らなかった頃、私が住んでいる牧之原市が榛原町の時です。町で綱引き大会を行うことになり、正式なロープを取り寄せ、皆で勉強し、競技としての綱引きを学びました。競技としての綱引きは1チーム8人で行い3セットマッチ、先に2セット先取したほうが勝ちとなる競技です。チームメンバーの合計体重にも制限があるため、対戦内容がとても拮抗する競技となります。そんなことを町中の方に教えて回り、第一回の大会を開くことが出来ました。大会には小学生も参加することが出来たのですが、他のスポーツで活躍することが出来なかったお子さんが綱引きで活躍することもあり、のちに学校行事でも取り上げられ、保護者の方々も喜んで頂くなど私の中で気持ちの温まるできことだったことを覚えています。

先週の土曜日と日曜日に東京の駒沢体育館で全日本綱引選手権大会が開催されました。今年の静岡県代表は、残念な結果に終わってしまいましたが、以前には静岡県代表が男女とも優勝したこともあります。

綱引きは、一本の綱があれば出来るわけですが、そこに携わる選手や監督を見ていると、小さな会社のように思えてきます。監督、司令塔のキャプテン、そして7人の選手全員が呼吸をそろえて一致団結しなければ勝てません。その基盤にはとても強い信頼関係があります。まさに会社の組織に似ているのです。

綱引が教えてくれたものってなんだろうと考えると、どの様な規模の大会においても、参加している選手が皆一生懸命であり、一本の綱に懸ける努力を目の当たりにしていると大きな感動が湧いてくるんです。

これが今までわたしを綱引きの世界に繋ぎとめてきたものだと思います。

それは一本のロープを中心にチームワーク、信頼関係、団結、人間同士のつながり、絆、その様な大切なことを学ばせて頂いたと思います。私がこの世界に長くいられたのは、素晴らしい人たちを身近に感じてくれたのからだと思っています。

本物の綱引き競技を見たことがない方は、是非一度会場に足を運んで頂き、目の前で観戦し、感動を味わっていただきたいと思います。

本日はこのような機会を頂きありがとうございました。

《スマイル報告》

杉田 至弘 君 静岡県綱引連盟理事長 石山なほみさん、今日もご多忙の中卓話に駆けつけて頂きありがとうございます。日頃の連盟運営にも感謝しスマイルします。

高田 雅司 君 先週はお休みを頂き、すみませんでした。おかげ様で大変ハードでしたが、楽しい旅でした。スマイル致します。

戸塚 敦雄 君 結婚記念日のお花ありがとうございます。

佐野 哲一 君 枯れ行く老木に肥料を与えても
左程元気にならず
それより倒れぬよう
寄り掛からぬことを願う次第
ただ山の本数維持が役目
明日もわからぬ生誕日に思うこと
作り笑いのスマイル

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
3/8	51(49)	36	13	-	-	-
3/1	51(48)	41	7	-	-	-
2/23	52(50)	40	10	4	6	88.00%

(会報作成 鍋田 知佐人)